

第一部 地域まちづくりについて

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
1 防 災 に つ い て	平成30年度総合防災訓練について	<p>本年度は9月2日(日)に実施し、関係機関との合同訓練は本町地区で開催。本町小学校をメイン会場に、「体験コーナー」「展示コーナー」「訓練コーナー」等のフェスティバル形式を取り入れた内容で調整中。本町地区の全自治会が集合しなければならない訳ではないが、できるだけ多くの皆様に来場して欲しい。</p> <p>今年2月に地震調査委員会は、南海トラフ沿いでマグニチュード8～9クラスの巨大地震の発生確率を「70%」から「70%～80%」へと上方修正。巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況の中、「防災」への取組はとても重要である。充実した訓練を行ない方が一の災害に備えるため、ぜひとも市民の皆様の総合防災訓練への参加をお願いします。</p>	防災課長
	大阪府北部を震源とする地震を受けての本市の対応について	<p>本年6月の大阪府北部を震源とする地震では、ブロック塀等の倒壊により2名が犠牲となる痛ましい事故が発生した。これを踏まえ、本市の学校を含む公共施設のブロック塀について調査したところ、現行の建築基準法に適合しないブロック塀が25か所あったので、順次改修等を進めている。</p> <p>また、小中学校全ての通学路において、ブロック塀の調査により3,167か所を抽出し、その中でも特に傾きやひびが認められる313か所について、現在、技術系職員を中心に2次調査を進めている。所有者に対しては、補助制度の活用等による撤去や改修について、啓発を行っている。皆様にも、危険と思われるブロック塀の情報提供のご協力をお願いします。</p>	
	平成30年7月豪雨を教訓とした本市の対応について	<p>平成30年7月豪雨では、200人以上の犠牲者がでるなど甚大な被害もたらされたが、浸水した地域は、行政が発行する「洪水ハザードマップ」の浸水エリアと約7割が一致している。本市においても、本年、神奈川県から「洪水浸水想定区域の見直しの指定」があり、見直しを反映した洪水ハザードマップを6月に全戸配布した。今一度、居住地区の浸水エリア等の確認をし、記録的豪雨時の洪水リスクを確認していただきたい。また、洪水が予測されるような豪雨の予報が出た際には、早めの避難を呼びかけるので、市からの情報に注視して欲しい。</p> <p>また、昨年の市政懇談会でも取り上げられた秦野曾屋高校への避難、備蓄倉庫設置について、副校長、教頭、事務長、総括教諭等と、5月1回、6月2回、7月1回の計4回協議を行った。防災備蓄倉庫の設置については、既に敷地内に生徒用倉庫が4つありスペースが少なくなっていることから、現実的に設置は難しい状況との回答であった。余裕教室についても確認したが、生徒数も多く、現状では教室に余裕がないとのことだった。今後も協議を進める中で、実現可能かは分からないが、最低限の備蓄品(食糧、飲料水、毛布等)を使用中の教室も含め、体育館等一部のスペースに置かせてもらえないか打診していきたいと考える。</p> <p>風水害時の避難所は、原則、本町公民館だが、避難者を収容しきれない場合や、金目川の氾濫や豪雨等で本町公民館までの避難が困難な場合、避難勧告等が発令された場合などに曾屋高校を避難所として開設することを、現在高校側と調整中。体育館を避難所として早めに開設することには理解を示していただき、今後さらに話しをつめていきたい。その中で既に、高校の正門と体育館の鍵は防災課が預かっており、休日や夜間に必要が生じた場合は、高校の担当者に連絡し市の職員が鍵を開ける手はずになっている。台風など予測ができる場合は、早め早めに避難を呼びかけていきたい。今後も、地域の要望を受けて、継続して高校側と協議していきたい。</p>	
1	本年度の総合防災訓練は本町小がメイン会場だが、参加予定の自治会はどのくらいか教えてほしい。	今、手元に資料の数字はないが、現時点では約8～9割の自治会が本町小に参加予定と思う。今回の総合防災訓練は、起震車体験等新たな取り組みもあるので、ぜひ参加して欲しい。	防災課長

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者	
1 防 災 に つ い て	2 先日自治会で防災講習会を行った際、家に高齢者しかいない状況で災害が起きた場合、市はどのような対応をしてくれるのかとの質問が出た。要支援者リストは自治会長、民生委員、児童委員等には送られていると思うが、他の自治会では要支援者に対して近所の人を1、2名指名しているところもあると聞いた。そのような取り組みや制度を、市ではどの程度進めているのか。	要支援者に対しては、基本的には隣近所での助け合いをお願いしたい。災害時には福祉部に対応する部署が立ち上がるので、防災課も福祉部と連携して、高齢者等への対応を進めていきたい。	防災課長	
	3 秦野曾屋高校への防災備蓄倉庫建設については、昨年より状況が大分前進しており安心したが、ハザードマップそのものがより厳しいものになっており心配している。引き続き交渉をお願いしたい。	【要望】		
	4 金目川の危険氾濫水位を目で確認できるものではないか。避難情報や勧告が出るような時に、普段の水位と比べて実際に避難する目安となるようなものの設置について、県と折衝して欲しい。	【要望】		
	5 先日の台風のとくに、防災無線が「聞こえない。何を言っているか分からない」との声が多かった。市内の他地域でも同様と思われるので、聞こえる範囲、聞こえない地域を再チェックし確認して欲しい。	【要望】		
	6 防災訓練の時の担当職員が、前年度と全く変わってしまって継続性がない。職員の異動を半分ずつにするなど地域に密着する仕方をして欲しい。	地区配備隊のメンバー編成時には、ご提案の通り半分くらいは残せるようにしていきたい。	防災課長	
	7 高齢者や身体障害者への対応について、自治会に入っていない人への対応はどうか。先ほど話が出たが曖昧な言い方だったので、市の方向がはっきりしているのなら、もう一度教えてほしい。	自治会に入っていない高齢者についても、自治会の中で安否確認等していただけるとありがたい。市の方針としてまだ明確なものはないので、今後話を詰めていきたい。今の段階では、自治会内の共助の部分でよろしくをお願いします。	防災課長	
	8 災害時にはまず、建設業者の協力が必要になるが、土木業者との協力関係はどうなっているか。	秦野市と秦野市建設業協会とで、災害時の協力協定を結んでいる。大雨や台風時には、市役所に設置される防災本部、災害対策本部に詰めていただき、建設部を通してお願いすることが多々ある。現状として、そのような連携を図っている。	防災課長	
	建設業者がだんだん少なくなっているが、その辺の育成はどうか。	建設業協会としてここ数年は減少傾向もなく、問題なく災害時に対応していただけると考える。	建設管理課長	

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
1 防炎について	9	大阪府北部を震源とする地震を受けて、公共施設以外の塀や壁の安全点検に対する補助制度を検討しているとのことだが、具体的にどのようなものか決まっているか。	既に危険物件等は防災工事補助金の制度があり、撤去工事に掛かる費用の75%を補助している。ただしこの75%とは、業者が出した見積額と、同じ工事を市の基準額で計算した額のうち、低い方の額の75%のことで、ほとんどの場合、市の積算額の75%の金額を出している。今回の地震を受けて、今までになく多くの問い合わせがきている。	防災課長
	10	市内の医療機関との、災害時の協定はどのようなものか。夜間でも診てもらえるのか。 一時避難所に診療所が開設する前の段階で、地元の医院に夜間も診てもらえると安心なので、ぜひ細かな検討を進めてほしい。	秦野市伊勢原市医師会と協定を結んでいるが、内容については、資料を持ってきていないので分からない。 【要望】	防災課長
	11	ブロック塀の安全点検を大道自治会でも申し込んだが、調査してもらったのかどうか報告がないが、どうか。	問い合わせがあった方には、声をかけて調査している。ただ、市では、安全かどうかの判断はできなく、補償の対象になるかどうかの判断をしている。	防災課長
2 道路の整備について		市道の整備について	<p>本町地区には、市役所前の市道6号線など363路線がある。</p> <p>① 道路改良事業は、日常の円滑な交通処理及び緊急車両の通行を確保するため、既存市道の拡幅改良を行うもので、市内全域から要望が多い中、優先度の高い路線から整備を進めている。事業費の確保が厳しいため、要望路線の中でも地権者の同意率の高い路線を中心に進めるなど、事業が停滞しないように工夫して行っている。そのような中、本町地区では、29年度に元町10号線(旧市道324号線)のNTT及びびほていや横の道路の拡幅工事を完了。30年度事業として、上大槻1号線(旧市道658号線)の東名高速の上原橋から平塚市、中井町方面へ向かう道路の拡幅工事を8月に完了した。</p> <p>② 歩道設置事業は、交通弱者である歩行者の完全と快適性の確保のため、通学路や交通量の多い道路について進めており、基本的に国の交付金事業としている。交付金対象外の歩道設置を行う場合は、建物の建て替え等に合わせ、セットバックなどにより事業を進めている状況にある。29年度は、市道6号線、富士見大橋付近の歩道約45mの整備と、秦野橋～本町小学校区間の歩道拡幅に向けた用地買収及び補償を行った。30年度は、秦野橋付近の区間の、29年度の残りの部分の用地交渉を進めている。また、本町小学校前の電線共同溝の工事を行い、市道6号線に関する事業は31年度までの完成を目指している。</p> <p>③ 秦野駅北口周辺整備事業は、国からの交付金を活用し、27年度から5か年計画で進めている。29年度は、ポレスター秦野側のエスカレーターとペDESTリアンデッキの設置を完了。30年度は、駅前広場中央部の中の島に下りエスカレーター設置工事を行っている。自転車駐車場の建て替え工事を、31年4月の供用開始に向け行っており、これに合わせて既存ペDESTリアンデッキの自転車駐車場までの延伸工事を、31年10月の完成を目指して実施しており、これにより本市の顔である秦野市北口駅前広場の再整備が完了する。また、県道705号線交差点から台町交差点までの東道(本町二丁目5号線)約260mをイメージ歩道整備事業として、27年度から側溝工事を進めている。30年度は引き続き側溝整備と整備終了区間約130mの舗装工事を行い、31年度に残る約130m区間の側溝整備、舗装工事、路側帯のカラー舗装を行って完成の予定。</p> <p>④ 舗装事業は、総合計画に基づき順次舗装の打換を行っており、一部路線では国の交付金を受けて進めている。国の交付金が減少傾向の中、今年度は、曾屋77号線(旧市道333号線)のオヶ分踏切付近の県道境～ほうらい橋区間の約530m、弘法山外周道路(市道7号線)の約30m、桜町通り(市道59号線)の桜町一丁目約110mを行う予定。</p>	建設部長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
2 道路の整備について		市道の整備について	⑤ 橋りょう長寿命化耐震化事業も、国の交付金を受けて進めており、総合計画及び橋りょう耐震補強計画で優先度の高い24橋のうち、本町地区には、東名高速に架かる上原橋、芹沢橋、小田急線に架かる天神橋、金目川に架かる大安橋、葛葉川に架かる葛葉大橋、水無川に架かる富士見大橋、水無瀬橋の7橋がある。このうち富士見大橋と葛葉大橋は完了しており、今年度は市内で2橋を予定しているうち本町地区では大安橋の工事を行う。	建設部長
		都市計画道路について	都市計画道路は、都市の骨格形成に必要となる道路網を構築するものだが、秦野市全体の整備率は約36%で、まだまだ整備が必要と考える。本町地区には国道246号バイパスの厚木秦野道路、山谷地区からクリーンセンターを經由し県道71号線に接続する曾屋名古屋線がある。その中で曾屋名古屋線は、地元の方にはとても重要な道路であることは十分認識しているが、財政状況が厳しい中、多額の費用を要する大規模な道路の整備については、次期総合計画に向けて優先順位を検討するための道路整備計画を策定していく。	
		県道の整備について	本町地区の県道は、河原町交差点を構成する県道62号(平塚秦野)、71号(秦野二宮)など5路線がある。 ① 県道705号の秦野駅前通りについて、県平塚土木事務所では昨年度から第2工区の用地交渉(建物調査)を開始し、今年度も継続するとのこと。第1工区の用地買収に関して、県(知事)への要望だけでなく、自民党や公明党などへの政党要望を通じて早期の完了を働きかけており、これは平成20年度の事業着手時から行っている。 県道705号の東京電力秦野営業センター横の交差点について。市では商業施設(ベルク)の開発協議を行っているが、時間を要している。県平塚土木事務所では、開発事業の進捗に合わせ、右折レーンが確保できるように改良事業を進めたいとのこと。 ② 県道62号の南平橋～欠ノ上バス停先区間約940mの歩道整備は、道路法面を活用した工法を用いて、約580mの区間で「張り出し歩道」が整備済み。構造物を設置するため、道路の境界を確定する必要があるが、未整備箇所約200mが確定していない。市としては速やかに境界を確定し、事業完成を要望している。	
		国道246号バイパス(厚木秦野道路)について	国道246号バイパス(厚木秦野道路)は、厚木市中依知(圏央道)から秦野市八沢(新東名)を結ぶ延長約29.1kmの自動車専用道路。秦野市域では、26年度に伊勢原西IC(仮称)～秦野中井IC間の約5.2kmが事業化され、沿線の7自治会を対象に、測量、地質調査等の説明会を開催した。その後、27年度から29年度にかけて路線測量、地質調査等を行い、今年度は道路設計、環境調査を行っているとのこと。未事業化区間については、本市、伊勢原市、厚木市、中井町で組織する国道246号バイパス建設促進協議会等の要望活動を通じ、国、県に対して早期の事業化を働きかけている。 道路の整備には地権者や皆様の協力が必要であり、費用も要することから、市の財政が厳しいなか市全体を見据え、国に交付金の要望をしながら進めている。また、国や県の事業に対しても早期完成の要望を行っている。また、道路の安全に関しては、定期パトロールも行っているが、皆様にも道路の穴ぼこや側溝が壊れている箇所を発見した際は、市へご一報いただきたい。	

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
2 道路の整備について	12 <p>曾屋名古木線について、昨年の懇談会で「財政の関係で5年くらい棚上げになっている」と、市長から説明があったと記憶するが、実際のところ、どのくらいの時期を目途に開通させる考えか聞かせてほしい。</p> <p>山谷地区は本町地区の中でも交通の便が悪いため、引っ越していく高齢者が増え、住人の減少を懸念している。対策として市の公共交通推進課の尽力で路線バスを4便増便してもらい試行中だが、乗降客が伸びない状況にあり、この道路が通るのを心待ちにしている。</p>	<p>先ほどの部長の説明にもあった通り、曾屋名古木線は市の都市計画道路として重要な道路と認識している。市内全体で96kmある都市計画道路の整備率が36%なのも先ほどの説明の通り。多額の費用が掛かる都市計画道路の整備については、市全体の中で考える必要があり、皆様の声を聞きながら計画を立て、優先順位を付けながら整備していきたい。</p>	道路整備課長
	<p>あの道路は、河川整備が進まないことが妨げになっているとも言われているので、今日は神倉県議も来ていられるので、県の方よろしくお願ひします。</p>	【要望】	
	13 <p>県道705号(秦野駅前通り)の整備計画は、平成18年頃から始まっていると思う。第一工区は仮舗装で街灯もなく暗いまだ。第二工区も25年頃に始まるかと思われたが、このところ計画が止まっている。この前まつり課の方と平塚土木に行った時に「早期着工します」とのことだったが、現実的には動きが見えない。計画から10年以上がたち、先行きの見えない状態に地域の者は不安を感じ、商店街を暗くしている。</p> <p>地域まちづくり計画に「にぎわいの拠点づくり」「商店街活性化」「地域商業の活性化」云々とあるが、現実的にはイトーヨーカドー、JA特産センターの閉店、駅前郵便局の移転など、主要なものが無くなっていく中、どのように活性化するのか。東道には古い建物が多いが、皆さんの力を借りながら、素晴らしい地域にしたいと考える。安心安全で楽しく暮らせる、ということを目指していただきたい。</p>	【意見・要望】	
14 <p>三条通りは狭い道で通学路にもなっているが、雨が降ると洪水になって歩けない。毎年要望しているが、改修してくれる見込みはあるか聞かせて欲しい。</p>	<p>三条通りとは栄町公園の東側の道路だと思うが、この道路には細い排水管はあるが排水設備が無く、集水桝があるだけなので、すぐに路面に水が溢れてしまう状況と考える。その解消のため、側溝にグレーチングが付いたものを横向きに設置して道路から流れてくる水を取る「横断溝」を検討している。今年度中に2か所程度設置し、状況を確認する。併せて、排水管も古いので清掃を行い様子を見て、今後の対応を考える。</p>	建設管理課長	

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
2 道路の整備について	15 先ほども出たが、曾屋名古木線をぜひ検討して欲しい。 クリーンセンター入口信号付近の住人は、清掃車が信号で止まるたびに音がうるさく排気ガスも出るということで要望を出していたが、なかなかできないので最近は塀を作って自衛している。そんな心遣いをしていてほしいところもあるので、よろしくお願ひしたい。	【意見・要望】	
	16 県道705号(秦野駅前通り)の整備に伴って、そこにどのような商店を育成するのか、或いは子育ての場所を設けるのか。秦野駅に向かう道路なので有効活用できるように、道路整備は終わったがシャッター通り、ということにならないように、地区の自治会長の意見を聞きながら、ソフト面の検討も進めてほしい。	【意見・要望】	
	17 落合の交差点から名古木入口への途中で末広小側に入るL字型の道路で、以前から簡易舗装の要望を出しているが、この道路では下水道が詰まったことがあり、道路だけでなく下水道の整備も必要なため、なかなか予算が取れず、見通しが立っていない。	【要望】	
	18 八坂神社と稲本組のところの道路を拡幅していただき、ありがとうございます。その先の、県営秦野団地から八坂神社までの道が狭く、車が通ると歩行者さえも邪魔者として見られてしまう。昨年の懇談会でも一部話し合いがあり、要望事項として取り上げてもらっているようだが、ぜひ実現してほしいというのが住民の強い要望なので、よろしくお願ひします。	【要望】	
	19 蓬萊橋から秦才橋のところまでの左岸の土手が、10年くらい前にかさ上げされたが、その後はそのままかさ上げされていないが、どういう状況か。	お話しのところは、河川管理用道路の整備のことと思う。この点については、市として県に要望を出し、現在調整している部分もある。この整備箇所には水路が入ってきているが、管理用通路の中に水路があることは管理上問題があり、その水路の扱いについて県と市で調整中である。この問題が処理されれば、県の事業、管理用道路の築造が進むものと考え。	国県事業推進課長

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(備2) 道路の整備	20 ほうらい橋から才か分踏切までの道路は、バスも通り舗装がかなり傷んでいるので、なるべく早く予算を取って工事してほしい。	先ほど建設部長からも説明があった通り、本年度、踏切近くの県道境からほうらい橋までの500m区間を舗装の打替え工事をする。バス通りでもあることから夜間工事となるので、地域の方にはご迷惑をかけるが、数年前から要望の出ている路線によりやく工事着手することができた。	建設管理課長

第二部 市政全般について

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	21 配布資料の「郷土を愛し、大切にす、歴史と伝統を感じるまちづくり」の中に、「五十嵐商店兼母屋及び倉庫が国登録有形文化財」とあるが、たばこ祭りの日に、我々のサークルは五十嵐商店の倉庫を借りて秦野の民話の紙芝居を上演する予定だ。たばこ祭りのチラシにそのPRを載せてもらうことはできるのか。	<p>昨年度、宇山商事と五十嵐商店の家屋等が国の登録文化財に登録され、建物としての付加価値が高まった。登録には市も協力したが、そういった建物等を生かす活動の場所になってほしいと思っている。今日は担当は来ていないが、私の方から相談をかけてみる。</p> <p>質問者が開催する「丹沢山麓・秦野の民話紙芝居の実演」に対し生涯学習文化振興課が名義後援をし、広報9月15日号に催し案内を掲載した。また、タウンニュース紙に情報提供し、活動が紹介掲載された。</p>	<p>市民部長</p> <p>(後日対応) 生涯学習文化振興課</p>
	よろしくをお願いします。秦野の民話はとてもすばらしいものなので、絶えないように守っていく活動をしている。各自治会でも要望があれば出張するので、よろしくをお願いします。	【意見】	
	22 本町地区には急傾斜地が多く、道路勾配の規制が開発の妨げになっている。現在、国交省の規制値と同じ12%だが、条例で規制を緩和しながら道路整備を進めていかないと、本町地区の開発は難しいと思う。その辺をぜひ研究してほしい。	開発に関する道路の部分だと思うが、確かに秦野市は急傾斜地が多く、「15%にしては」等同様の意見もあった。しかし、やはり12%を超えると交差点等で非常に危険な状態になるので、よく検討したい。	建設部長
23 配布資料に「空き家等対策の推進」という項目があるが、我々の自治会内でも空き家が増えて困っている。市として具体的な対策や検討していることがあれば聞かせてほしい。	本町地区には、今年6月現在で、約6,500棟の住宅系建物があり、そのうち約200棟が空き家状況であろうと把握しています。管理の行き届いていない空き家については、個々に所有者を訪ねるなど適正な管理をお願いしており、過去には遠方まで訪問したようなケースもあります。また、長い目で見た場合、これらの空き家を有効活用する取組が必要であると考えており、例えば民泊等も、いろいろと課題はあるようですが、その活用法の一案だと考えています。	企画課長	

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	24 中里は、60戸の小さな、全てが市街化調整区域の、田畑の多い自治会だが、ここ数年で美しかった田や畑が荒れてきている。道路にも木が被さるような危機的状況になっており、地域の者だけで管理するのは難しい中で農業をやっている。公的な力で環境整備をお願いしないと、中里地区で農業はできなくなってしまう。田んぼの水路の管理が難しくなったので、室川に自動水門の設置を毎年要求に挙げている。また、数年前に浄水ポンプ場設置の説明があったが、その後滞っている。このような自治会が本町地区にもあることを認識してほしい。	【意見・要望】	
	25 市民行政サービスに関する要望。防犯灯の点検関係書類は、公民館に提出するとくらし安全課に届くシステムになっている。同様に、環境資源センター等に対する連絡、報告書類のような定型のものは、公民館でも受け付けてほしい。	【要望】	
	26 ペットボトル「秦野のおいしい水」について。 ①日本一になったチャンスを生かし、市長には県内外への宣伝に励んでもらいたい。市内では宣伝しているようだが、外に向かってももっと力を入れるべきと思う。 ②市役所内で「秦野のおいしい水」を売っていないのは良くない。コンビニではなく本庁舎内でも買えるようにすべきだ。 ③現在500mlサイズのペットボトルしかないが、多くの人に使うため、家庭用の大きなサイズのボトルも早々に作るべきと思う。	<p>①視察や会議等、他県・他市から本市を訪問される場面では、各課において「おいしい秦野の水」を用意しPRに努めています。大々的なコマーシャルは難しいですが、さまざまな機会を通じて、できる限り周知を図ってきたいとの思いを持っています。</p> <p>②庁舎内に売店はありませんが、複数の階に設置している自動販売機では、「おいしい秦野の水」を購入することができます。</p> <p>③(当日、所管部局の出席がなかったため、政策部長において回答)現状、ワンサイズで販売している理由は、複数のサイズを作って売ることの費用対効果が低いためだと思います。関心をお寄せいただき、ご提案があったことについて、担当する上下水道局に伝えます。</p> <p>-----</p> <p>上下水道局は、公営企業として上下水道料金等により独立運営されています。その中で、基本的に赤字事業である「おいしい秦野の水事業」につきましては、「水道事業PRのための付帯事業」と位置づけをしています。</p> <p>①県内外でのPRについては、市外からの視察、会議及びイベント等、対応しています。また、小田急電鉄、飲料メーカーなどに対して販売協力のお願いをしましたが、自社ブランドの保護や価格を理由に協力は得られませんでした。今後も、観光、産業、広報部門と連携をしながら、市内小売業者を中心にお問い合わせしてまいります。</p> <p>②庁内の自動販売機につきましては資産経営課が管理しており、市が設置している自動販売機については「おいしい水」の取り扱いをしております。また、1階の自動販売機につきましては、市が支援する福祉団体が設置した自動販売機のため、取扱い商品が指定できないものです。今後は、担当課を通して「おいしい秦野の水」の取り扱いをお願いします。</p> <p>③現在の500mlに加えて別サイズを製造した場合、年間10万本程度の売り上げ増や新たな倉庫の確保が必要となり、経費面のリスクが大きいことから別サイズ製造の予定はありません。今後も、情報収集及び研究を続けてまいります。</p>	政策部長

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	27 自治会の加入率は、市全体の加入率が63～4%、本町地区は幸いなことに10%多くて約75%と、昨年、一昨年も同じような数字だが、市としての加入率を上げる作戦はどのようなか。活動報告を聞きたい。	少子高齢化、生活の多様化、世代構成の変化、ライフスタイルの変化等による加入率の低下は全国的な課題であり、我々も危惧している。対策としては、戸籍住民課の窓口で転入者に自治会加入のチラシをわたしている。新たに分譲される土地やマンション等の環境創出行為において、開発業者に対し、入居者への自治会加入の呼びかけをお願いしている。また、市HPや広報はただ自治会の活動を紹介し、災害時や防災、防犯等に自治会は重要だと認識してもらうよう、普及、啓発を行っている。自治会連合会では平成27年に自治会加入促進プロジェクト委員会を立ち上げ、「自治会加入促進ハンドブック」を作り、独自の取り組みをしている。同じく平成27年、アパートや貸家等に入居する人に加入を呼びかけるため、神奈川県宅地建物取引協会の湘南中支部と秦野市、秦野市自治会連合会の三者で、自治会加入促進等に関する協定を締結した。あとは、地道な呼びかけや、時折電話で「ゴミステーションを使うには自治会の加入が必要か」との問い合わせに対し、加入は任意であるが、コミュニティが薄れる時代の中にあっては、逆に自治会というものが地域にとっては大事な役割になっていることを伝えている。	市民活動支援課長
	28 市役所に電話をした時、所属と名前を名乗る職員と名乗らない職員がいるが、市長はどのような指導をしているのか。	市役所では、「〇〇課の〇〇です」と必ず返答することになっている。ごく稀に名乗らずに対応した職員がいれば注意するが、基本的には名乗るようにしている。	市長
	29 市内4駅ではそれぞれ結構賑わってきているとのことだが、県道705号線は今の秦野では一番の中心街ということで道路の拡幅等行っていると思う。まちづくり計画において、何人くらいの動員と、どのような動線を考えて設計しているのか。	秦野市の人口約17万人に合わせて全体の構想を作っており、個別に詳細に落とした計画は難しい。4駅には、渋沢駅は登山口、秦野駅は秦野の玄関口、東海大学は学生の町、鶴巻温泉は温泉といった特色があり、それを生かしてそれぞれに合った賑わいづくりを考えているので、良い知恵があれば出していきたいので、よろしくお願いします。	市長
	30 神奈川新聞の県西県央版には伊勢原市の記事がたくさん載っており、市役所が確実に動いていると感じる。秦野市も負けずに、もっと新聞を活用して秦野をPRして欲しい。企業を誘致して人口が増え、他所の友人と駅前でお茶やお茶ができる場所ができ、若い人が住んでみたいと思うようなまちづくりをして欲しい。	【意見・要望】	
	名前を名乗られると安心するし、名乗った方は相談事を最後まで面倒見てくれるが、名乗らない場合は進んでいないことが多いと感じる。	【意見】	
	何人くらい集まるかを考えれば、道路や駐車場、駅からの動きをどうするか等考える必要が出てくる。我々にとって、この地区からにぎわうことが一番良いので、よろしくお願いします。	【意見】	

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	31	日赤の問題はどのような状況か。	日赤の分娩業務が27年に休止して以来、皆様方には心配をかけている。今年5月から、田中院長と市との意見交換の場を設けた。また、日赤は昔から横浜市大出身の医師がおおいので、横浜市大の医局の方、あるいは学長、理事長とも意見交換している。すぐに再開とはいかないが、少しずつ着実に取り組み分娩再開に向けて努力している。	市長
		地域ネコの問題はどうなっているのか。	(当日、所管部局の出席がなかったため、政策部長において回答) 飼い主のいないネコを増やさない取組として、むやみに繁殖させないための不妊去勢手術への助成や適正飼育のガイドラインの周知等を行っています。地域においても、えさやりをしないと糞尿の清掃など苦心されているのではないかと思います。地域ネコの問題は市内全域で起きていると思うので、地域の皆様からの要望事項として担当する健康づくり課に伝えます。	政策部長
	32	私の自治会では、市に相談に行き担当職員からアドバイスを受け、「ネコに餌をやらないください。餌をやらなければネコは餌を求めて他の地域に移動します。ネコが好きでネコに餌を与えるのであれば、糞の処理も含め、そのネコを自分のネコとして管理してください」との内容を町内で回覧した。	【意見】	